

2010年3月期第2四半期 (2009年4月～9月期)

決算概要と今後の見通しについて

2009年11月19日

代表取締役社長 漆原 茂



ウルシステムズ株式会社

<http://www.ulsystems.co.jp>

[mailto: ir@ulsystems.co.jp](mailto:ir@ulsystems.co.jp)

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

2010年3月期 第2四半期決算概要

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

2010年3月期中間期 決算サマリー

対予想値

(百万円:切捨て)

	2010年3月期 中間期予想値	2010年3月期 中間期実績値	差異額	差異率
売上高	650	674	+24	+3.7%
営業利益 (営業利益率)	△20 (-%)	43 (6.4%)	+63	—
経常利益 (経常利益率)	△20 (-%)	46 (6.9%)	+66	—
当期純利益	△10	27	+37	—

(売上高) リピート案件の堅調な受注、ソフトウェア事業の大型案件により上振れ
 (経常利益) 高採算のソフトウェア事業案件、保守・ライセンス等の収益基盤の積上げ、販管費の削減により中間黒字化達成

2010年3月期中間期 決算の概要(対前年同期実績)

UL Systems, Inc.

(百万円:切捨て)

	2009年3月期 中間期実績値	2010年3月期 中間期実績値	増減額	増減率
売上高	828	674	△154	△19%
売上総利益 (売上総利益率)	285 (34%)	257 (38%)	△28	△10%
営業利益 (営業利益率)	△15 (-)	43 (6.4%)	+58	-
経常利益 (経常利益率)	△12 (-)	46 (6.9%)	+59	-
当期純利益	△15	27	+42	-
純資産	2,240	2,212	△28	△1.3%
自己資本比率	89.3%	92.9%	+3.6p	-

注)2009年3月期第2四半期は連結財務諸表を作成しているため、連結会社にかかる数値を記載しております。

(営業利益・経常利益) ソフトウェア事業の利益貢献及び販管費の圧縮が、対前年同期比での増益の主な要因

(自己資本比率) 高い自己資本比率(有利子負債ゼロ)、健全な財務体質を維持

2010年3月期中間期 事業別損益の状況(対前年同期比)

UL Systems, Inc.

● 事業別 損益

(百万円:切捨て)

事業		2009年3月期 中間期実績値	2010年3月期 中間期実績値	増減額	増減率
コンサルティング 事業	売上高	726	568	△158	△22%
	売上原価	452	364	△88	△19%
	売上総利益	274	203	△71	△26%
ソフトウェア 事業	売上高	101	105	+3	+3%
	売上原価	90	52	△39	△43%
	売上総利益	11	53	+42	+382%

注)2009年3月期中間期は連結財務諸表を作成しているため、連結会社にかかる数値を記載しております。

コンサルティング事業

- 情報通信系、公共系等の主要顧客からリピート案件の受注堅調
- 市況は厳しい。下期は営業体制を更に強化。新規案件獲得へ注力

ソフトウェア事業

- UMLaut/J-XML関連の大型案件受注及び保守収益が積上がる
- 下期は、更に他社との協業・提携により販売てこ入れ

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

事業の進捗状況

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

コンサルティング事業

上半期を通じて新規顧客開拓は苦戦するも、主要顧客からの継続案件の受注が堅調。高稼働率と安定的なリピート受注により予算を上回った。



期初の想定課題

第2四半期までの進捗状況

新規案件の受注増

- パートナーとの協業による販促活動を積極的に展開
- 営業・事業部一体の拡販体制を構築し、新規顧客の潜在案件発掘を図る



品質維持と安定収益
モデルの確立

- プロジェクト品質の管理強化が奏功し、プロジェクトリスクの低減を実現
受注損失引当額: 20百万円(前中間) → 0円

下半期及び来期に向けて、新規顧客開拓のために、営業体制の強化及びプリセールス活動へのリソースの投入を継続する。

ソフトウェア事業

売上及び収益が堅調に改善。
通期売上高2億円、事業単独の営業黒字化を目標に営業活動に注力。

期初の想定課題

第2四半期までの進捗状況

ソフトウェア事業単独
での営業黒字化

- 高採算の大型開発案件、ライセンス・保守等の収益基盤の着実な積上げ進捗により上半期営業黒字化達成
- ライセンスモデルからコンサルティングモデルへのシフトを継続

次世代XML-EDI(流通ビジネスメッセージ標準)
対応ソフトウェア

UMLaut/J-XML

新ソリューション事業
の立上

- パートナー会社との協業や積極的なセミナー展開により新製品“ドキュメント・インテリジェンス”の潜在顧客を開拓中。下半期受注を目指す

ドキュメントの多目的DB化で実現する
業務の効率化・最適化

UL Systems, Inc. × JUSTSYSTEMS
Document Intelligence

下半期以降の市場の拡大に伴い、パートナーとの協業及び営業活動に全力をあげる。

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

主なトピックス

コンサルティング事業

■ 関連会社

【2009年10月28日】全国自治体に対するITソリューション提供会社「ピースミールテクノロジー(株)」を第三者割当増資により関連会社化

■ 受賞

【2009年7月7日】ウルシステムズが支援した東邦チタニウム(株)様「インゴット新生産管理システム」が日経コンピュータ主催「IT Japan Award 2009」で「特別賞」を受賞



(出典)日経コンピュータ 特別編集版「IT Japan Award2009」

■ 協業パートナー

(株)アイエムジェイ、(株)ビーエスピーとの協業による積極的な顧客開拓展開

ソフトウェア事業

■ 展示会、セミナー

- ・ Just System Search and Strategy 2009 2009年6月16日 展示会及び講演 200名集客
- ・ ドキュメント・インテリジェンスセミナー
2009年7月29日(東京)、10月9日(東京)、23日(大阪) 40名集客

ピースミール・テクノロジー(株)の関連会社化

UL Systems, Inc.



全国自治体へ
ITソリューション提供

ピースミール・テクノロジー株式会社

- 独立行政法人産業技術総合研究所のITソリューション開発基盤技術を、全国の自治体へ展開する
- 当社が発行済み株式の22%を保有し関連会社化
2009年10月5日設立
代表取締役社長 林 浩一
- 独立行政法人産業技術総合研究所の「認定ベンチャー」としての称号を受ける予定

PMTECH

技術支援、資本提携



CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

株主利益還元策について

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

株主利益還元策

1. 今年度の期末配当予定

- 当期純利益予想値(100百万円)達成を前提に1株当たり350円を予定

2. 自己株式取得

- 累計2,279株(発行済株式総数の4%弱)取得済み(2009年9月30日現在)
- 今後も株価動向等を参考に適時に実施予定

2010年3月期 通期見通し

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

2010年3月期通期見通しの概要

見通しに変更なし

(百万円:切捨て)

	2009年3月期 (実績)	2010年3月期 (見通し)
売上高	1,687	1,800
経常利益 (経常利益率)	104 (6.2%)	180 (10%)
当期純利益	△52	100

- コンサルティング事業:既存顧客からのリピートオーダーを積上げつつ新規顧客案件開拓に注力する。
- ソフトウェア事業:UMLaut/J-XML事業の通期営業黒字化に注力

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

本資料お取扱い上の注意点

本資料は決算説明及び当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ
ウルシステムズ株式会社
IR担当
TEL: 03-6220-1416
E-mail: ir@ulsystems.co.jp

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.